

大会実施要項

大会名	第5回厚木市少年野球卒団記念大会 〔第4回リコー杯争奪厚木市少年野球卒団記念大会〕
目的	小学校を卒業する6年生の、よき野球の思い出づくりのできる大会として実施する。
主催	厚木市少年野球協会〔学童部〕
後援	株式会社リコー 厚木事業所
募集チーム数	市内8チーム、市外16チーム、計24チーム
開会式会場	株式会社リコー 厚木事業所（厚木市下荻野1005）
大会日程	11月14日（土）開会式、予選リーグ12試合 株式会社リコー 厚木事業所グラウンド 三田フレンズA面、B面 11月21日（土）予選リーグ12試合 市営厚木球場 飯山グラウンドA面、B面 南毛利SC A面 11月22日（日）予選リーグ12試合 株式会社リコー厚木事業所グラウンド 猿ヶ島野球場 三田フレンズA面 11月23日（月）敗者復活戦6試合 厚木市営球場 猿ヶ島野球場 11月28日（土）決勝トーナメント4試合 猿ヶ島野球場 12月6日（土）準決勝、決勝、閉会式 株式会社リコー 厚木事業所グラウンド 11月29日（日）予備日 三田フレンズ 12月5日（土）予備日 猿ヶ島野球場 12月6日（日）予備日 猿ヶ島野球場 12月13日（日）予備日 猿ヶ島野球場
実施形式	6ブロック〔4チーム〕にて予選リーグを行い、各ブロック上位1チーム〔6チーム〕決勝トーナメント進出。 各ブロック2位チームによるリーグ戦を行い2チーム決勝トーナメント進出。 合計8チームによる決勝トーナメントを行う。
	※ 県央県北少年軟式野球大会・学校行事のみ考慮して日程変更を行う。
	※ 大会の趣旨から考えて、6年生を優先して出場させることが望ましい。

大会運営に関する申し合わせ事項

予選リーグの順位決定について

- ① 勝率。
- ② 2チームが同率の場合は直接対決の勝者を上位とする。
- ③ 3チームが同率となった場合は、該当チーム間の対戦における得失点差の多いチームを上位する。
- ④ ③で決まらない場合は、全試合の得失点差の多いチームを上位とする。
- ⑤ ④でも決まらない場合は、全試合の得点の多いチームを上位とする。
- ⑥ ⑤でも決まらない場合は、抽選にて決定する。

例 A・B・Cの3チームが同率の場合で、A-Bの試合は「5-3」でAの勝利、B-Cの試合は「4-3」でBの勝利、A-Cの試合は、「2-1」でCの勝利の場合、そして、A・B・C共Dには勝利した場合、3チームが2勝1敗となる。この場合得失点差で順位を決めるが、Dとの対戦は第1段階の順位決定③には無関係となる。Aは得失点差が「+1」、Bは「-1」、Cは「±0」となり、順位は「A・C・B」となる。得失点差の場合、先攻が有利になるが、先攻後攻は一切考慮しない。また、特別ルールの得失点差は「1」とする。

6年生の試合出場について

- ① 6年生の登録選手は、各試合に必ず何かの形〔代打・代走・守備〕で出場させることが望ましい。
- ② 6年生が9名以上登録できるチームは各試合とも6年生だけで行う事が理想である。
- ③ 8名以下の場合は、不足人数を補う形で5年生以下の選手を出場させる事が出来る。
- ④ 6年生の今までの努力を讃えることが、本大会の趣旨であるので、指導者はその趣旨を十分理解して対応されるようお願いいたします。

その他

- ① 学校行事〔各チーム1件までとする〕県央県北学童軟式野球大会については、考慮する
雨天以外の他の理由では日程変更は行わない。
- ② その他は、監督主将会議及び大会申し合わせ事項を確認・厳守の事。

大会申し合わせ事項

ATSUGI BOYS BASEBALL

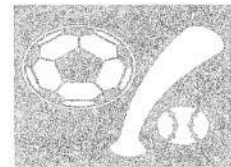
- 1 監督主将会議又は代表者会議で定められた事項は、チーム全員に徹底させること。
- 2 大会の使用球は「公認ボールC号」とする。
- 3 原則としてベンチは組み合わせ番号の若い方を「1塁側」とする。
- 4 攻守は、大会役員又は審判員立会いの下でその都度決める。
- 5 試合中ベンチに入れる者は、次の通りとする。

[代表者・監督・コーチ2名・スコアラー・選手20名以内。但し、いずれも大会参加申込書に登録されたものである事。また、6年生を全員登録し、残りの選手を5・4・3年生から登録すること。]
- 6 次に試合を行うチームは、前の試合の1時間経過時又は5回終了時に、本部にメンバー表「3通」を提出して攻守を決めておく事。
- 7 前の試合が早く終了したり、天候の様子によっては試合開始時間を予定より早めることもある。責任者は前の試合の進行に注意する事。
- 8 試合開始予定時間になっても、会場に来ないチームは「棄権」と見なす。
- 9 試合は、7回又は1時間30分のいずれか早く達した方を優先して「正式試合」とする。
 - ① 降雨・日没等の事項による正式試合は「5回終了時」に成立する。
 - ② 時間が経過しても勝敗の決しない場合は「特別ルール」を採用する。
- 10 時間制によるコールドゲームについては、次のように定める。
 - ① 定められた時間を経過しても、両チーム無得点か同点の場合は「特別ルール」にて勝敗を決する。特別ルールは次の通りとし、予選リーグの特別ルールの得失点差は「1」とする。
 - ② 特別ルールは、継続打順とし、前回の最終打者を1塁走者とし、以下2塁・3塁の走者を順次前の打者（投手は除いてもよい）として、無死満塁の状態にして1イニングを行い得点の多い方を勝ちとする。なお勝敗の決しない場合は、さらに継続打順でこれを繰り返す。但し、特別ルールを2回繰り返しても勝敗の決しない場合は「抽選」とする。
- 11 得点によるコールドゲームについては、次のように定める。

☆ 3回以降10点差以上、5回以降7点差以上、又は、後攻がその得点差になった時点で試合を打ち切る。なお、決勝戦は3回のコールドゲームは適用しない。
- 12 試合前のシートノックは行わない。また、相手チームを誹謗したりやじったりしてはならない。応援の父母等も含めて、審判員・大会役員はこのような行為を行う者を「退場」させることがある。
- 13 選手の交替は、主将（監督）又は当該選手が球審に申し出る事。攻守交替は迅速に行う事。投手は必ずプレートに足をつけて捕手のサインを見る事。又、打者は速やかに打席に入り、みだりに打席をはずしてはならない。

資料⑦

- 14 ファールボールは攻守に関係なく、1塁側に飛んだ球は1塁側チーム、3塁側に飛んだ球は3塁側チームが拾う事。バックネットの周辺に飛んだ球は、攻撃側チームが拾う事。
- 15 監督・コーチは、選手と同じユニフォームを着用し、背番号は監督は「30」番。コーチは「28・29」番とする。[違反の場合はベンチ入りを認めない。]
- 16 代表者・スコアラーの服装は特に定めないが、選手と同じ帽子を着用し、スポーツにふさわしい服装とする事。代表者の帽子は連盟役員の帽子でもよい。
- 17 選手・監督・コーチ等ベンチに入る者は、ゴム底のスパイクシューズ又は運動靴とする。[監督・コーチは同色のスパイクを履くこと。違反者はベンチ入りを認めない。]
- 18 投手は変化球を投げてはならない。審判員が変化球と判断した場合は「ボール」とコールする。打者・走者・コーチャーはヘルメットを着用する事。各チームヘルメットは最低7個用意する事。
- 19 試合中、降雨による試合続行・中止・成立等は審判団の判断に委ねるものとする。試合が成立していない場合は、「サスペンデッドゲーム」とし、後日続きを行う。
- 20 試合中、極めてやむをえざるアクシデントにより、5分以上試合を中断した場合は、審判団の判断により、中断された時間を制限時間に付加することができるが、これは極めてやむをえざると判断した場合のみに限る。
- 21 試合開始のとき挨拶をかわすので、打者は打席に入る際、帽子を取って挨拶しなくてよい。
- 22 試合開始・終了の挨拶は、ベンチにいる全員もベンチ前で起立して同時に行う事。
- 23 試合終了後、相手ベンチ・本部席への挨拶はしなくてよい。次の試合を速やかに行うため、できる限り早くベンチを明け渡す事。
- 24 グランドによっては、危険防止のため「特別ルール」を採用することがある。
- 25 勝敗が同率の場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- 26 大会の趣旨を踏まえ6年生を優先的に毎試合出場させる事。なお、登録が全員6年生の場合は、極力多くの選手を出場させること。
- 27 その他については、「今年度公認野球規則」・「今年度全日本軟式野球連盟競技者必携少年学童部の項」を適用する。



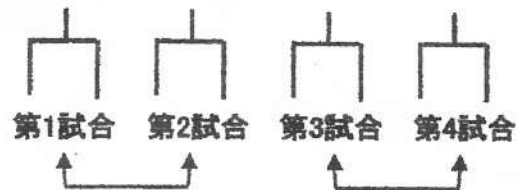
審判員の服装について

- ① 神奈川県少年野球連盟学童部の公認審判服。
- ② ①が用意できない場合は、各支部の公認審判服。
- ③ ①②とも用意できない場合は、白の Y シャツかポロシャツ（半袖）に紺又はグレーのスボン。シャツはワンポイント程度のマークはついていてもかまいません。
- ④ 帽子は「審判帽」・靴は「審判靴」を基本とするが、準備できない場合は、「チームの帽子」・「運動靴」でもかまいません。
- ⑤ ユニフォーム姿やジャージ姿で審判を行うことは認められません。

上記①②③④以外の服装にて審判をしている審判員のチームは、次回大会以降の参加を認めません。割り当ての審判を行わないで帰った場合も次回大会以降の大会への参加を認めません。

1日4試合の場合

第1試合 第2試合の2チーム
 第2試合 第1試合の2チーム
 第3試合 第4試合の2チーム
 第4試合 第3試合の2チーム



組合せ抽選番号の小さいチーム（1塁側チーム）が球審および2塁塁審
 組合せ抽選番号の大きいチーム（3塁側チーム）が1塁塁審および3塁塁審
 ただし、当該チームにて話し合い、球審を変更しても差し支えありません

敗者復活戦、決勝トーナメントの審判は厚木市少年野球協会審判部が行います。